

国際日本研究学位プログラム(博士前期課程)

専門基礎科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OAA3011	日本政治と市民社会1	1	1.0	1・2				日本の政治や市民社会に関する日本語の文献を広く講読し、その内容を深く理解するとともに、社会科学における研究の方法等を修得する。とりわけ、比較という視座から日本の市民社会を相対化して捉えられるようになることを目指す。この授業では、市民社会に関する幅広い題材を取り扱う。	教室は人社A316 西暦偶数年度開講。 01DR490と同一。 対面
OAA3012	Japan's Politics and Civil Society 1	1	1.0	1・2				日本の政治や市民社会に関する英語の文献を広く講読し、その内容を深く理解するとともに、社会科学における研究の方法等を修得する。とりわけ、比較という視座から日本の市民社会を相対化して捉えられるようになることを目指す。この授業では、市民社会に関する幅広い題材を取り扱う。	西暦偶数年度開講。 01DR491と同一。 英語で授業。 オンライン(対面併用型)
OABE001	国際日本研究のための日本語	1	1.0	1	秋AB	月6	吉 甜	日本語で修士論文を執筆することを目指す留学生や日本語非母語話者を対象として、日本語を通じて、研究対象・研究方法をめぐる着想・着眼、資料の収集や情報の探索をめぐる適切な手法、参考文献の探し方・読み方、研究発表の望ましい方法など、研究を推進し論文を執筆するために必要な知識について講義を通じて議論し、各自の基礎的な能力開発を図る。	教室は人社A316 対面(オンライン併用型)
OABE002	国際日本研究のための英語	1	1.0	1	秋AB	月5	DARIYAGUL SHORINA	この授業は、英語非母語話者を主たる対象とし、修士論文や学術雑誌投稿論文を英語で執筆することを念頭におき、研究対象の設定や研究方法論、資料収集・情報探索、文献のレビュー、英文アカデミックライティングの基礎など、論文を書くために必要な知識について講義を通じて議論し、各自の基礎的な能力開発を図る。	教室は人社A316 対面(オンライン併用型)
OABE004	国際日本研究のための日本語	2	1.0	1・2	春C	応談	吉 甜	日本語で修士論文を執筆することを目指す留学生や日本語非母語話者を対象として、研究力や研究倫理を培い、アカデミックライティングのスキルを向上させることを目指す。日本語でのプレゼンテーションを通じて、日本語コミュニケーションや専門書読解の能力を高める。また、学術論文作成に必要な語彙と文法を学ぶことにより、学術的な論文を書く力を養う。	対面 TEACHの特別聴講生限定
OABE019	東アジアの思想と文化1	1	1.0	1・2	秋AB	火2	嚴 錫仁	中国・韓国(朝鮮半島)・日本の東アジア地域は、古くから漢字文化圏、それにちなんで儒教文化圏とも呼ばれてきた。本授業では、東アジアにおける儒教思想、特に中国宋代の新儒学の勃興以降の展開と特徴を比較的な観点で考察することを目的とする。とりわけここでは、韓国の儒学思想史を対象として、壇君神話や新羅の花郎道にみえる思想的な特徴、三国時代と高麗期において仏教が思想的な主流をなしているなかでの儒学思想の展開様相と役割、そして高麗後期に受容された朱子学の展開様相などを概観する。朱子学の展開様相では、高麗・朝鮮の易姓革命をめぐる朱子学の担い手である新進士大夫たちの理念と行動、それに基づく朝鮮時代初期の官学派と士林派の葛藤と展開、その中に現れている朝鮮儒学の特徴などを考察する。	西暦奇数年開講。 01DR549と同一。 対面
OABE020	比較文学論1A	1	1.0	1・2	春AB	木4	平石 典子	近現代の文学を研究対象として取り扱う際、海外の文化や文学との交流や影響関係を考えることは大変重要である。本授業は、比較文学の手法を学ぶことによって、近・現代文学研究における新たな視野を獲得することを目的とする。多言語のテキストの精読による実証研究や、翻訳理論などを用いたテキスト研究の具体例に触れ、こうした研究に関する知識を得ることで、比較文学研究の視点を体得し、履修者の修士論文に向けての研究に生かす。	西暦奇数年開講。 オンライン(同時双方向型)
OABE021	比較文学論1B	1	1.0	1・2	秋AB	木4	平石 典子	近現代の文学を研究対象として取り扱う際、海外の文化や文学との交流や影響関係を考えることは大変重要である。本授業では、比較文学の手法を実践的に学ぶことによって、近・現代文学研究における新たな視野を獲得することを目的とする。多言語のテキストの精読による実証や、翻訳理論・ジェンダー理論・ポストコロニアル理論などを用いたテキスト分析を実際に行うことにより、比較文学研究の視点を体得し、履修者の修士論文に向けての研究に生かす。「比較文学論1A」とは異なるトピックスを扱う。	西暦奇数年開講。 オンライン(同時双方向型)

OABE022	日本の文化と文芸1A	1	1.0	1・2	春AB	月4	石塚 修	世界的にみても、ある文学作品が発生するのは、その国家・民族の文化活動の一環であることはいまでもないことである。本講義では日本文学古典作品について文学史の基本的事項をふまえながらカルチュラルスタディーズの手法を応用しつつ、受講する大学院生の研究対象に即して、研究の指導を適宜発表の形式も交えながら行っていく。	西暦奇数年度開講。 01DR593と同一。 対面
OABE023	日本の文化と文芸1B	1	1.0	1・2	秋AB	月4	石塚 修	世界的にみても、ある文学作品が発生するのは、その国家・民族の文化活動の一環であることはいまでもないことである。本講義では日本文学近代作品について文学史の基本的事項をふまえながらカルチュラルスタディーズの手法を応用しつつ、受講する大学院生の研究対象に即して、研究の指導を適宜発表の形式も交えながら行っていく。「日本の文化と文芸1A」とは異なるトピックスを扱う。	西暦奇数年度開講。 対面
OABE024	世界の文学・文化と日本1A	1	1.0	1・2	春AB	火6	江口 真規	具体的な作品の分析を通して、文学・文化の研究方法与文学理論の歴史を学ぶ。「1A」では、文学理論に関するテキストの講読と発表を行い、まずは小説の形式や技法（語り手、焦点化、異化、間テクスト性、メタフィクション等）について知識を深める。次に、ジャンルや読者の反応を扱う批評理論や、精神分析批評、脱構築批評について学ぶ。文学・文化を研究するうえでどのようなアプローチがあるのかを知り、自らの研究方法の選択に生かしているとともに、文化現象を分析するための批判的な考察力を身に付ける。	教室は人社A316 西暦奇数年度開講。 対面
OABE025	世界の文学・文化と日本1B	1	1.0	1・2	秋AB	火6	江口 真規	具体的な作品の分析を通して、文学・文化の研究方法与文学理論の歴史を学ぶ。「1B」では、文学理論に関するテキストの講読と発表を行い、フェミニズム批評やジェンダー批評、ポストコロニアル批評等について理解を深める。文学理論がどのような社会的背景と結び付いて発展してきたのかについて知ることにより、文学と社会、文学研究と社会のあり方を考察する。また、文学理論が日本の文学・文化研究においてどのように受容されてきたのかについても学ぶ。	教室はA316 西暦奇数年度開講。 対面
OABE028	東アジアの古典学と文字文化1A	4	1.0	1・2				八世紀初頭の成立と考えられる『古事記』『日本書紀』の読解を通して、古典籍の実証的な解釈を行う方法の修得を目指す。両書は東アジアに共有される漢籍や漢訳仏典の影響を強く受けて成り立つため、その解釈は文献相互の緊張関係のもとに捉えられる必要がある。本授業では、基礎的な注釈書や工具書の利用方法を具体的に確認しつつ、漢籍を中心とする古典籍を訓詁注釈に基づいて解釈する方法を検討する。	西暦偶数年度開講。 対面
OABE029	東アジアの古典学と文字文化1B	4	1.0	1・2	春AB	木3	葛西 太一	八世紀初頭の成立と考えられる『古事記』『日本書紀』を比較しながら、それぞれの文字表現の特質を検討する。固有の文字を持たない当時、漢字や漢文を借りることによって、はじめて自らの言語文化を文字記載することが可能となった。その方法を模索するなかで成り立つ両書は、類似する内容を含みながらも、その志向する文体は大きく異なっている。漢字や漢語との接触によって成り立つ書記言語の様相について、基礎的な工具書や注釈書の利用方法を確認しながら考察する。	西暦奇数年度開講。 対面
OABE030	メディア研究1	1	1.0	1・2				この授業では、メディアとコミュニケーションの研究方法に関する文献を輪読する。主にメディア研究方法について学習する。メディアの実証研究の読み方及び実証研究を実施する際に必要になる能力を習得することを目標とする。指定された文献を図書館のデータベースよりダウンロードし、授業のときまでに読み、事前にレポートをウェブにて提出する。授業では文献に関するディスカッションとプレゼンテーションを行い、他の履修生と情報共有し、授業後にその活動内容を報告する。これを、各回実施する。	西暦偶数年度開講。 対面

OABE031	メディア思想と日本社会1	1	1.0	1・2	春AB	火5	白戸 健一郎	本授業はメディア研究の生成とその歴史的社会的背景を考えるものである。マス・メディアが誕生して以降、メディアは政治経済文化などさまざまな現象に影響を与え、また影響を受けてきた。メディア研究にはそのような歴史的社会的背景が色濃く影響している。本授業では、メディア研究やその中の種々の理論や批評がいかんして生まれたのかを歴史的社会的連関の中で考察し、そこから透過できる日本社会とメディア思想についての理解を深めることを目的としている。授業は適切なメディア研究と近現代日本史に関するテキストを選別し、担当箇所を受講者が報告し、全体で議論を進め、理解を深めていく輪読形式をとる。これをつうじて先行研究の把握と論文における課題設定の方法、論理的実証的な研究の進め方について学習する。	教室は人社A316 西暦奇数年度開講。 01DR383と同一。 対面(オンライン併用型)
OABE032	比較メディア思想1	1	1.0	1・2				本授業は、メディア研究の生成とその歴史的社会的背景について、新聞・映画・ラジオ・テレビなどの各メディアとの比較メディア史的観点及び欧米やアジア諸国と日本との国際比較の観点から、考えるものである。マス・メディアが誕生して以降、メディアは政治経済文化などさまざまな現象に影響を与え、また影響を受けてきた。メディア研究やメディアを考察するメディア思想にはそのような社会現象が強く刻印されている。メディア研究やメディア思想への考察から、社会や政治や文化の国ごとの特質や共通性について理解できるようにする。授業はメディア史やメディア思想に関する適切なテキストを選別し、担当箇所を受講者が報告し、全体で議論を進め、理解を深めていく輪読形式をとる。これをつうじて先行研究の把握と論文における課題設定の方法、論理的実証的な研究の進め方について学習する。	西暦偶数年度開講。 01DR654と同一。 対面(オンライン併用型)
OABE033	日本語相互行為分析1	2	1.0	1・2	春AB	金3	高木 智世	「日常会話」は、言語を問わず、様々な言語使用状況の中でも最も一般的かつ根源的な社会的相互行為場面である。その「日常会話」をフィールドとして、社会学者のHarvey Sacks, Emanuel Schegloff, Gail Jeffersonらによって日常的相互行為の組織を明らかにするべく創始され、開発されたのが「会話分析」である。本授業では、会話分析の理論的背景や視点を学んだ上で、会話分析の基本的分析概念を日本語データの具体的事例を通して理解し、会話分析の手法の基礎を身につける。	対面(オンライン併用型)
OABE034	日常会話のエスノグラフィ1	2	1.0	1・2	春AB	水3	井出 里咲子	当たり前の現象としてある「日常会話」から社会と文化に切り込む方法について学ぶ。言語人類学の会話やディスコースへのアプローチを理論的に学び、談話や会話を分析する上での方法論について考える。	教室は人社A316。 対面
OABE035	表象メディア論1A	2	1.0	1・2				メディアと表象に関する理論や研究手法の基礎を学ぶ。映画研究、視覚文化研究、カルチュラル・スタディーズ、ファン研究などの基礎的な文献を購読し、具体的な事例を検討することで理論的な理解を深める。授業は演習形式で行う。	西暦偶数年度開講。 要望があれば英語で授業。オンライン(対面併用型)
OABE036	表象メディア論1B	2	1.0	1・2	春AB	金3	渡部 宏樹	メディアと表象に関する理論や研究手法の基礎を学ぶ。映画研究、視覚文化研究、カルチュラル・スタディーズ、ファン研究などの基礎的な文献を購読し、具体的な事例を検討することで理論的な理解を深める。授業は演習形式で行う。	西暦奇数年度開講。 要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
OABE044	日本の対外関係1	1	1.0	1・2	春AB	火2	潘 亮	本講義においては近現代日本の対外政策の形成過程とその背景に関する研究資料や文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の基礎的な方法論を習得する。講義内容は原則として第二次世界大戦後のいわゆる「冷戦時代」(1940年代から90年代初頭まで)及び「ポスト冷戦時代」にウェイトを置く。英文の教科書を使用するが、授業は日本語で行なわれる。履修要件として「日本の対外関係2」(OABE344)を同時に履修する必要がある。	西暦奇数年度開講。 対面
OABE045	Foreign Relations of Japan 1	1	1.0	1・2				本講義は現代日本の対外政策の形成とその歴史的背景を、政治及び安全保障面を中心に、議論するものである。更に、現代日本の対外関係に関する歴史的な研究の方法論についても適宜議論する。本講義は1890年代以降の時代を対象とするが、第二次世界大戦終戦後の時代(1940年代後半から1980年代後半までの「冷戦期」並びに「ポスト冷戦期」)に重点を置く。講義は原則的に英語で行われる。教科書や各種資料も英語の出版物を中心に選定する。講義中、活発な議論を強く奨励する。「Foreign Relations of Japan 2」と相互補完的な講義である。	教室は3K226 西暦偶数年度開講。 対面

OABE047	International Relations 1B	2	1.0	1・2	春AB	火4	大友貴史	国際関係の主要な理論を、英語文献を通して学習する。国際政治における対立と協調に関する論文を取り上げ、様々な角度から諸理論・アプローチを理解することにとどまらず、実際のケースに理論を応用する能力を身に付ける。また、理論の政策的なインプリケーションについても検討し、今日の国際関係との関連性を学ぶ。	西暦奇数年度開講。 対面
OABE048	日本の行政	1	1.0	1・2	春AB	木4	河合 晃一	本授業は日本の行政に関する制度や理論を中心に講義する。日本の行政の実態を捉え分析するための基礎的知識と研究能力を養うことが本授業の目的である。なお、日本の行政の理解を深めるにあたり日本の政治制度等に関する議論も本授業では取り扱う。	2025年度より2年おきに開講。 対面
OABE049	International Relations 1A	2	1.0	1・2	秋AB	木4	大友貴史	国際関係の主要な理論を、英語文献を通して学習する。国際政治における対立と協調に関する論文を取り上げ、様々な角度から諸理論・アプローチを批判的に検証することを通し、社会科学的な分析能力を身に付けることを目標とする。	西暦奇数年度開講。 2025年度より2年おきに開講。 対面
OABE050	比較歴史教育1	1	1.0	1・2	春AB	火5	柴田 政子	比較教育学の理論を、その歴史的発展過程をたどりながら学ぶ。比較教育学の発展は、ヨーロッパにおける近代国民国家の形成という時代を背景に発展したことを理解するとともに、その後の学問的潮流の変遷、例えば近代化理論・実証主義・ポスト植民地主義・ポストモダン理論などとともに変化・発展してきた過程を理解する。そのことを踏まえ、21世紀のグローバル社会における共生ということを中心とした歴史教育のあり方について、日本と諸外国の事例(Comparative History Education 1ではとりあげないもの)について比較検討する。比較歴史教育1では、特に戦争など国際紛争と教育という観点から歴史教育の在り方について考察する。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
OABE051	Comparative History Education 1	1	1.0	1・2	秋AB	火5	柴田 政子	比較教育学の理論を、その歴史的発展過程をたどりながら学ぶ。比較教育学の発展は、ヨーロッパにおける近代国民国家の形成という時代を背景に発展したことを理解するとともに、その後の学問的潮流の変遷、例えば近代化理論・実証主義・ポスト植民地主義・ポストモダン理論などとともに変化・発展してきた過程を理解する。そのことを踏まえ、21世紀のグローバル社会における共生ということを中心とした歴史教育のあり方について、日本と諸外国の事例について比較検討する。比較歴史教育1では、特に戦争など国際紛争と教育という観点から歴史教育の在り方について考察する。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
OABE052	計量分析1A	1	1.0	1・2	春AB	月2	崔 宰栄	計量分析は、社会の様々な分野での諸現象や実態を取り巻く溢れる情報から、現象や実態の把握、物事の意味付け、簡略化、客観化、推定等のため、多くの分野で用いる分析ツールの一つである。この授業では、分析に用いるデータの調査方法と、計量分析ツールを正しく使うための基礎統計の概念について講義する。講義内容は、計量分析の概要、基礎集計(度数分布)、記述統計(代表値、散布度)など統計の基本概念を理解し、計量分析1Bを勉強するための土台作りを行う。	教室は人社A316 01DR120と同一。 対面(オンライン併用型)。オンライン(対面併用型)
OABE053	計量分析1B	2	1.0	1・2	春AB	木2	崔 宰栄	計量分析は、社会の様々な分野での諸現象や実態を取り巻く溢れる情報から、現象や実態の把握、物事の意味付け、簡略化、客観化、推定等のため、多くの分野で用いる分析ツールの一つである。この授業では、分析に用いるデータの調査方法と、計量分析ツールを正しく使うための基礎統計の概念について講義する。講義内容は、計量分析1Aで学んだ知識(基礎集計、記述統計)を土台とし、関連分析(相関分析、回帰分析)を中心とした、計量分析の入門的な概念を理解し、発展させる。	教室は人社A316 対面(オンライン併用型)。オンライン(対面併用型)
OABE054	Global Communication Theory 1A	4	1.0	1・2	春AB	水3	イスマイロフ ムロド	This course explores key theories and frameworks in global communication, emphasizing the interplay between culture, technology, and international relations. The course critically examines media's role in shaping global discourse, fostering intercultural understanding, and addressing communication challenges in a highly interconnected world.	2025年度より2年おきに開講。 対面。対面(オンライン併用型)
OABE064	金融1	1	1.0	1・2	秋AB	金5	高橋 秀直	この講義の目的は、19世紀末から20世紀にかけての日本経済の発展を国際金融の視点から見直す講義である。主に、日本が19世紀末のグローバル経済に参加した当時の国際金融の世界について説明する。そのうえで、日本と世界経済の関わりを検討する。	西暦奇数年度開講。 01DR205と同一。 対面

OABE065	日本経済発展論	1	1.0	1・2	春AB	水3	高橋 秀直	この講義の目的は、19世紀から現在までの日本経済の発展について学ぶことである。本講義では、特に、中心国と周辺国の間の非対称的な国際関係の視点から、19世紀の日本経済がグローバル経済に参入する際に直面した課題を検討する。現在の日本は世界経済をけん引する国の一つとなったが、19世紀末においては、当時のグローバル経済に関わり始めたばかりの新興国の一つであった。当時の日本経済の経験学ぶことは、現在のグローバル経済に関わらざるを得ない新興国にとっても有益な示唆を与えるであろう。	英語で講義を行います。 01DR262と同一。 英語で授業。 対面
OABE068	地域経済・経営史1A	1	1.0	1・2				本授業はグローバル競争時代の地域企業経営およびその課題について深く理解する前提として、グローバル競争以前の経営・事業展開を歴史的に検討することを目標とする。特に本授業では、地域経済の発展に貢献することを強く意識した「地域貢献型企業」に着目し、創業からその後の事業展開を歴史的に検討することを主なテーマとする。授業では、毎回、注目される研究事例・文献等を取り上げ、それについてまず教員が近年の研究動向を踏まえつつ重要点を説明する。さらに教員が一方的に講義を行うのではなく、受講生の報告と討論も取り入れる形で授業を進める予定である。	教室はA316 西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
OABE069	地域経済・経営史1B	2	1.0	1・2	春A	木5,6	平沢 照雄	本授業はグローバル競争時代における地域産業の衰退あるいは再生・活性化について深く理解する前提として、グローバル競争以前の地域産業の発展および産業集積の形成・展開について歴史的に検討することを目標とする。特に本授業では、都市型産業集積、企業城下町型産業集積、産地型産業集積の3つのタイプに着目し、それらの集積の特徴と形成・発展過程について歴史的に検討することを主なテーマとする。授業では、毎回、注目される研究事例・文献等を取り上げ、それについてまず教員が近年の研究動向を踏まえつつ重要点を説明する。さらに教員が一方的に講義を行うのではなく、受講生の報告と討論も取り入れる形で授業を進める予定である。	受講者多数の場合、科目等履修者が履修不可となる場合がある。 教室は人社A316 西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
OABE070	Media Research 1	1	1.0	1・2				この授業は英語でメディアに関する研究方法を学習する。実証研究における分析手法を学ぶ。多変量解析などの活用方法を理解できるようになる。この授業では、指定された文献を図書館のデータベースよりダウンロードし、授業のときまでに読み、事前にレポートをウェブにて提出する。授業では文献に関するディスカッションとプレゼンテーションを行い、他の履修生と情報共有し、授業後にその活動内容を報告する。これを、各回実施する。	西暦偶数年度開講。 対面
OABE071	移民研究・国際人口移動論1	2	1.0	1・2	春AB	木3	明石 純一	移民・難民など現代の国際人口移動に関する現状、理論、政策、政治、ガバナンス、市場経済等について、政治学・国際関係論の観点・命題を中心に学際的に考察する。おもに、この分野における主要基本文献の精読と解題をおこなうほか、時事的なケーススタディをもとに議論を深める。	西暦奇数年度開講。 対面
OABE072	Migration and Multicultural Studies 1	2	1.0	1・2	秋AB	月2	明石 純一, 佐藤 麻理絵	移民・難民など現代の国際人口移動と日本社会の「多文化」化に関する現状、理論、政策、政治、ガバナンス、市場経済等について、政治学・国際関係論の観点・命題を中心に学際的な考察を加える。おもに、この分野における主要基本文献(英語)の精読と解題をおこなうほか、時事的なケーススタディをもとに議論を深める。	西暦奇数年度開講。 対面
OABE075	法と現代社会1A	1	1.0	1・2	春AB	月4	宮坂 渉	法は現代社会にとって役に立つのか立たないのか、立つとしてどの程度か、それはなぜか、といった問いについて、受講生各人が自分の頭で考え、調べ、結論を出すことができるようになることを目標とする。グローバル社会における日本が抱える現代的な法的問題について考察するために、生殖医療、義務教育、校則、少年犯罪、就職活動等、現代日本の社会問題について法的な観点から講義した上で、質疑応答を行う。受講生は、各回のテーマについて、指定する教科書・参考書等を読んで理解を深め、新聞・テレビ・インターネット等のメディアを通じて最新の情報を収集し、質疑応答に臨むことが要求される。	教室は人社A316 西暦奇数年度開講。 01DR241と同一。 対面

OABE076	法と現代社会1B	2	1.0	1・2	秋AB	月4	宮坂 渉	法は現代社会にとって役に立つのか立たないのか、立つとしてどの程度か、それはなぜか、といった問いについて、受講生各人が自分の頭で考え、調べ、結論を出すことができるようになることを目標とする。グローバル社会における日本が抱える現代的な法的問題について考察するために、労働法、死刑制度、環境問題、多重債務者、安楽死・尊厳死、相続等、現代日本の社会問題について法的な観点から講義した上で、質疑応答を行う。受講生は、各回のテーマについて、指定する教科書・参考書等を読んで理解を深め、新聞・テレビ・インターネット等のメディアを通じて最新の情報を収集し、質疑応答に臨むことが要求される。	西暦奇数年度開講。 01DR242と同一。 対面
OABE077	多文化共生論1	4	1.0	1・2	春AB	火2	佐藤 麻理絵	本講義では、日本の社会的・文化的多様性を紹介し、多文化共生をめぐる様々な争点について探求していきます。多文化共生とは、現代日本における多様性の問題を取り上げる際によく使われる言葉です。1980年代以降、日本には多くの移民が流入し、日本社会は急速に多文化になりつつあります。こうした日本で起きている移民や難民をめぐる実態や共生社会に向けた実践にふれ、多文化共生社会のあり方や、それを支える法制度や課題などについて考えます。	教室は人社A316 西暦奇数年度開講。 対面
OABE078	Comparative Perspectives on Law1A	1	1.0	1・2				Civil codes serve as foundational texts in numerous legal systems. This course will explore the civil codes of several countries. Equal emphasis will be given to the historical, social and legal contexts that led to their adoption, and to the peculiarities of each code. The lessons will follow the comparative method and provide insights into the processes of globalization and circulation of legal models.	2024年度より2年おきに開講。 英語で授業。 2025年度開講せず。 対面
OABE079	Comparative Perspectives on Law1B	1	1.0	1・2				Civil codes serve as foundational texts in numerous legal systems. This course will explore the civil codes of several countries. Equal emphasis will be given to the historical, social and legal contexts that led to their adoption, and to the peculiarities of each code. The lessons will follow the comparative method and provide insights into the processes of globalization and circulation of legal models.	2024年度より2年おきに開講。 英語で授業。 2025年度開講せず。 対面
OABE080	日本語会話教育法	2	1.0	1	春AB	水2	関崎 博紀	日本語の会話技術を指導する際に留意すべき点を考える。まず、会話能力の構成概念の検討、それに関する先行研究の講読、及び、習得理論上での位置づけの検討を行う。その上で、受講生を学生に見立てた教壇実習と振り返りを行い、習得を促進させるのに必要な先鋭的取り組みを生み出す。	教室は人社A316 対面
OABE083	日本語教育と社会言語学	2	1.0	1・2	春AB	金2	ヴァンバーレン ルート	急変する社会の中でことばがどのように変化し、その変化がコミュニケーションへどのような影響を与えるかを考える。他言語にも触れながら、主に日本の社会と日本語との関連を扱う文献を通して社会言語学の手法を学ぶ。受講者が順番に自らの興味に合ったテーマの研究論文を選択し、研究内容を発表し、有益なポイントと疑問点を述べる。受講者全員と議論しながら、日本語教育上の問題点や、日本語教育への応用を考える。授業での使用言語(日本語・英語)は受講者と相談のうえで決める。	科目等履修生の条件： 日本語教師養成プログラム修了者に限る 対面
OABE084	日本語教育原論	2	1.0	1	春AB	水5	波多野 博顕、伊藤 秀明、文 昶允、小 野 正樹	日本語教育領域に関連する基礎的な知識を学ぶと同時に、日本語学習者、日本語教室、教材開発、日本語の文法・会話・作文・読解・聴解などの技能別指導方法、日本の社会や文化、異文化コミュニケーション、会話分析、語用論などの観点から日本語教育現場への応用について学ぶ。授業担当は日本語教育学コースを担当する教員がオムニバスで担当する。	科目等履修生の条件： 旧・日本語教師養成プログラム修了者に限る 対面
OABE085	日本語教育評価法	2	1.0	1	春AB	水7	文 昶允、伊藤 秀 明、波多野 博顕、 小野 正樹	日本語教育原論と連動する形で、日本語教育原論で学んだ指導方法をもとに、評価やテストについて考える。日本語の文法・会話・作文・読解・聴解、日本の社会や文化、異文化コミュニケーション、社会言語学、会話分析、語用論などの観点を踏まえつつ、学習効果の評価がいかに可能であるかを、テストの作成、インタビューやポートフォリオ作成といった実践を通して学ぶ。授業担当は日本語教育学コースを担当する教員がオムニバスで担当する。	科目等履修生の条件： 旧・日本語教師養成プログラム修了者に限る 対面

OABE087	日本語教育のための文法研究	4	1.0	1・2	秋AB	金2	チョーハン アヌ プティ	文法研究の一種である日本語教育文法研究についての基礎知識や研究手法を学ぶ。受講生は、日本語教育文法に関する基礎的な文献および研究論文を講読し、文法教育の役割、日本語教育上の問題点について考えながら、文法を指導する際の留意すべき点・日本語教育現場への応用について議論する。	科目等履修生の条件： 日本語教師養成プログラム修了者に限る 教室は人社A316 対面
OABE088	日本語教育とデータ分析	4	1.0	1・2	秋AB	火5	波多野 博頭	日本語教育においてデータサイエンス的な手法による研究は益々増えており、また、そのような文献から自身の研究にとって新たな知見を得る機会も多い。この授業では、日本語教育研究で扱われる機会の多い各種データについて、定量分析の観点から実践的な理解を深めることを目的とする。関連文献を精読するとともに、分析ツールを用いてデータ処理の作業を試みる。また、表やグラフによる効果的な可視化や、目的に合った適切な統計手法についても学ぶ。作業のため受講生はPCが必須であるが、用いるツールはいずれも専門分野では標準的かつ無料で提供されているものである。以上の経験を通して、データ運用力の向上を図るとともに、分析的観点から文献を読む力を養う。	科目等履修生の条件： 日本語教師養成プログラム修了者に限る 教室は人社A316 対面
OABE089	日本語教育のための第二言語習得論	4	1.0	1・2	春AB	月4	ブッシュネル ケード コンラン	第二言語習得に関する基礎知識と概念を確認しながら、特に日本語教育の中で理論をどのように実践に活かしたらいいのかについて考えてゆく。	科目等履修生の条件： 旧・日本語教師養成プログラム修了者に限る 対面
OABE100	リサーチ・プログラム開発基礎1	2	1.0	1・2	春ABC	応談	国際日本研究学位プログラム全教員(前期)	構成教員や主指導教員(副指導を含む)の協議をふまえ、国内外学会、シンポジウム、学術会議、公開講座などの研究教育に関連する活動等を企画運営または参画することを通じて、資料調査・サーベイ等による研究能力にとどまらず、運営事務や企画調整等のマネジメントおよびコミュニケーションといった実践能力の涵養を併せて図ることを目的とする。履修者は、その活動および成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録し、活動終了後に学位プログラムリーダーへ提出する。提出された「ノート」は教育会議に諮って審査し、合格が認められた者に1.0単位を付与する。 本科目を適用できる活動は、原則として構成教員や主指導教員(副指導を含む)が教育会議に付議して認められた企画・活動に限るものとし、履修者はその活動の準備から終了まで積極的に参画すること。また、履修者の「ノート」は、通常10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当し、自らの研究活動に寄与する質量であることが望ましい。 なお、早期修了希望・早期修了希望以外のいずれの学生であっても、教育会議の審議の結果、認められれば履修することができる。	履修を希望する者は、概要を必ず一読して関係各所にあらかじめ相談すること。履修登録は履修を認められたのちに行うこと。 要望があれば英語で授業。対面(オンライン併用型)
OABE101	リサーチ・プログラム開発基礎2	2	1.0	1・2	秋ABC	応談	国際日本研究学位プログラム全教員(前期)	構成教員や主指導教員(副指導を含む)の協議をふまえ、国内外学会、シンポジウム、学術会議、公開講座などの研究教育に関連する活動等を企画運営または参画することを通じて、資料調査・サーベイ等による研究能力にとどまらず、運営事務や企画調整等のマネジメントおよびコミュニケーションといった実践能力の涵養を併せて図ることを目的とする。履修者は、その活動および成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録し、活動終了後に学位プログラムリーダーへ提出する。提出された「ノート」は教育会議に諮って審査し、合格が認められた者に1.0単位を付与する。 本科目を適用できる活動は、原則として構成教員や主指導教員(副指導を含む)が教育会議に付議して認められた企画・活動に限るものとし、履修者はその活動の準備から終了まで積極的に参画すること。また、履修者の「ノート」は、通常10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当し、自らの研究活動に寄与する質量であることが望ましい。 なお、早期修了希望・早期修了希望以外のいずれの学生であっても、教育会議の審議の結果、認められれば履修することができる。	履修を希望する者は、概要を必ず一読して関係各所にあらかじめ相談すること。履修登録は履修を認められたのちに行うこと。 要望があれば英語で授業。対面(オンライン併用型)
OABE110	比較宗教文化1A	4	1.0	1・2	春AB	木2	喜田川 たまき	本授業では、日本を含む諸地域にみられる宗教および文化についての文献を講読し、宗教現象とそれを成り立たせる文化の多様な在り方について学び、それらと比較考察する手法を獲得することを旨とする。宗教学を主な方法論とするが、宗教や文化を扱う他領域の文献も含めて検討する。	2025年度より2年おきに開講。 対面

OABE160	ミクロ経済学基礎1	1	1.0	1・2	春AB	応談	福住 多一	この授業は講義形式で行う。目標として、まずミクロ経済理論の基本を理解する。そしてこの理論の経済現象への典型的な応用研究例を学ぶ。ミクロ理論の内容は、完全競争市場における家計と企業の理論及びこれらの双対理論、完全競争市場における市場均衡点の性質である。これらを学んだうえで、部分均衡に関する実験経済学、需要の価格弾力性の実証研究、生産関数・費用関数の実証研究、経済厚生と租税の転嫁と帰着、国際貿易理論などの基礎的な研究例を紹介する。	西暦奇数年度開講。 対面
OABE161	Foundation of Microeconomics 1	1	1.0	1・2	秋AB	応談	福住 多一	この講義ではミクロ経済学の中級レベルの理論と、その応用が紹介される。理論のトピックスは一般均衡理論と不完全競争市場の理論からなる。この講義の目標は、これらの理論を用いて、以下の経済現象を分析することである。一般均衡理論においては、動学的なマクロ経済モデルが紹介され、それを用いて社会保障問題が検討される。不完全競争市場の理論では、企業の独占的競争理論が扱われ、それが景気循環のマクロ経済モデルに適用される。	西暦奇数年度開講。 英語で授業。 対面

専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OABE300	リサーチ・プログラム開発1	2	2.0	1	春ABC	応談	国際日本研究学位プログラム全教員(前期)	自らの研究テーマに関して指導教員(複数が望ましい)の指定する学習教材、文献、各種資料などを幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義 および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」は複数教員で評価する。本演習は早期修了予定者が修士論文作成に必要な知識を習得することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員の許可がある。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本演習を受講したい者は、事前に指導教員、学位プログラムリーダーの承諾がある。許可があれば、同一の研究 テーマで複数の「リサーチ・プログラム開発」授業・演習を履修することができる。	履修を希望する者は、概要を必ず一読して関係各所にあらかじめ相談すること。履修登録は履修を認められたのちに行うこと。 01DR061と同一。 要望があれば英語で授業。対面(オンライン併用型)
OABE301	リサーチ・プログラム開発2	2	2.0	1	春ABC	応談	国際日本研究学位プログラム全教員(前期)	自らの研究テーマに関して指導教員(複数が望ましい)の指定する学習教材、文献、各種資料などを幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義 および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」は複数教員で評価する。本演習は早期修了予定者が修士論文作成に必要な知識を習得することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員の許可がある。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本演習を受講したい者は、事前に指導教員、学位プログラムリーダーの承諾がある。許可があれば、同一の研究 テーマで複数の「リサーチ・プログラム開発」授業・演習を履修することができるが、「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録される学習内容、レポートは「リサーチ・プログラム開発1」とは別のものでなくてはならない。	履修を希望する者は、概要を必ず一読して関係各所にあらかじめ相談すること。履修登録は履修を認められたのちに行うこと。 01DR062と同一。 要望があれば英語で授業。対面(オンライン併用型)

OABE302	リサーチ・プログラム開発3	2	2.0	1	秋ABC	応談	国際日本研究学位プログラム全教員(前期)	自らの研究テーマに関して指導教員(複数が望ましい)の指定する学習教材、文献、各種資料などを幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義 および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」は複数教員で評価する。本演習は早期修了予定者が修士論文作成に必要な知識を習得することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員の許可がある。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本演習を受講したい者は、事前に指導教員、学位プログラムリーダーの承諾がある。許可があれば、同一の研究 テーマで複数の「リサーチ・プログラム開発」授業・演習を履修することができるが、「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録される学習内容、レポートは「リサーチ・プログラム開発1.2」とは別のものでなくてはならない。	履修を希望する者は、概要を必ず一読して関係各所にあらかじめ相談すること。履修登録は履修を認められたのちに行うこと。 01DR063と同一。 要望があれば英語で授業。対面(オンライン併用型)
OABE303	リサーチ・プログラム開発4	2	2.0	1	秋ABC	応談	国際日本研究学位プログラム全教員(前期)	自らの研究テーマに関して指導教員(複数が望ましい)の指定する学習教材、文献、各種資料などを幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義 および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」は複数教員で評価する。本演習は早期修了予定者が修士論文作成に必要な知識を習得することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員の許可がある。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本演習を受講したい者は、事前に指導教員、学位プログラムリーダーの承諾がある。許可があれば、同一の研究 テーマで複数の「リサーチ・プログラム開発」授業・演習を履修することができるが、「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録される学習内容、レポートは「リサーチ・プログラム開発1.2,3」とは別のものでなくてはならない。	履修を希望する者は、概要を必ず一読して関係各所にあらかじめ相談すること。履修登録は履修を認められたのちに行うこと。 01DR064と同一。 要望があれば英語で授業。対面(オンライン併用型)
OABE304	リサーチ・プログラム特別開発1	2	1.0	1・2	春ABC	応談	国際日本研究学位プログラム全教員(前期)	本科目は英語等外国語による優秀な学術業績の成果産出を促す目的から開講するものであり、学生は指導教員および学位プログラムリーダーに履修の意思を示し、学位プログラム教育会議において履修の適切性が審議・承認された場合において、その履修が認められる。学生は自らの研究テーマに関して、学位プログラムリーダー、指導教員、学位プログラム代表者等の指示する教材、文献、各種資料などを広く学習しつつ、海外の関連学会・シンポジウム・学術会議・公開講座等に参加のうえ発表をおこない、その発表詳細および学習成果について総括レポートを作成する。レポートは通常10回分の講義および予復習、外国語運用能力の向上に資する程度の質と量を必要とする。学生は総括レポートを必ず指導教員および学位プログラムリーダーに報告し、そのレポートに記載された研究の進捗状況および学習内容は学位プログラムにおいて審査される。審査の結果「可」の判断が与えられた場合、1.0単位が付与される。	履修を希望する者は、概要を必ず一読して関係各所にあらかじめ相談すること。履修登録は履修を認められたのちに行うこと。 要望があれば英語で授業。対面(オンライン併用型)

OABE305	リサーチ・プログラム 特別開発2	2	1.0	1・2	秋ABC	応談	国際日本研究学位 プログラム全教員 (前期)	<p>本科目は英語等外国語による優秀な学術業績の成果産出を促す目的から開講するものであり、学生は指導教員および学位プログラムリーダーに履修の意思を示し、学位プログラム教育会議において履修の適切性が審議・承認された場合において、その履修が認められる。</p> <p>学生は自らの研究テーマに関して、学位プログラムリーダー、指導教員、学位プログラム代表者等の指示する教材、文献、各種資料などを広く学習しつつ、海外の関連学会・シンポジウム・学術会議・公開講座等に参加のうえ発表をおこない、その発表詳細および学習成果について総括レポートを作成する。レポートは通常10回分の講義および予復習、外国語運用能力の向上に資する程度の質と量を必要とする。</p> <p>学生は総括レポートを必ず指導教員および学位プログラムリーダーに報告し、そのレポートに記載された研究の進捗状況および学習内容は学位プログラムにおいて審査される。審査の結果「可」の判断が与えられた場合、1.0単位が付与される。</p>	<p>履修を希望する者は、概要を必ず一読して関係各所にあらかじめ相談すること。履修登録は履修を認められたのちに行うこと。</p> <p>要望があれば英語で授業。対面(オンライン併用型)</p>
OABE311	韓国社会と家1	1	1.0	1・2				<p>韓国社会における「家」について他文化圏との比較考察を交えつつ学ぶ。韓国の「家」は、伝統的に儒教思想の強い影響下にあったが、植民地の時代を経ながら、また近代化の進行の中で変貌を余儀なくされている。現代においては高齢化問題、少子化問題の深刻化が進み、政治・社会・経済の変動ともなう、老父母扶養の問題、夫婦間の役割問題、親子間の価値観問題なども顕在化している。この授業では、朝鮮時代を中心とする韓国の伝統的な「家」像と、近代化の過程で現れている「家」の現住所について、家族制度、家族倫理、家庭教育といった側面から、他文化圏との比較考察を交えつつ、その模様を考察する。韓国の家族制度、家族倫理、家庭教育に関する原典資料および研究書・論文を読みながら、討議・説明する。</p>	<p>西暦偶数年度開講。 01DR305と同一。 対面</p>
OABE314	日本古典文化と身体1	1	1.0	1・2	春AB	火2	巖 錫仁	<p>東洋思想では気をもって人間の身体を説明し、その関連で養生論を発達させてきた。広く東洋思想の中の気論・養生論を概観しながら、日本の古典に現れる気・養生論の特徴を考察する。この授業を通して、東洋思想の中の気論、養生論について知識を広め、日本的な気論と養生論の特徴を理解する。東洋思想と日本思想の中の気論、養生論に関する原典資料および研究書・論文を読みながら、討議・説明する。特に貝原益軒の『養生訓』について詳論する。</p>	<p>西暦奇数年度開講 01DR350と同一。 西暦奇数年度開講。 01DR350と同一。 対面</p>
OABE320	東アジアの思想と文化2	1	1.0	1・2				<p>中国・韓国(朝鮮半島)・日本の東アジア地域は、古くから漢字文化圏、それにちなんで儒教文化圏とも呼ばれてきた。本授業では、東アジアにおける儒教思想、特に中国宋代の新儒学の勃興以降の展開と特徴を比較的な観点で考察することを目的とする。とりわけここでは、「朝鮮半島と日中の思想文化1A」に引き続き、朝鮮時代の中期以後の儒学思想を概観する。李退溪と李栗谷に代表される朝鮮朱子学の定立と分化の様相、彼らの登場以後展開される嶺南学派と畿湖学派の対立、四七論争、人心道心論争、礼学論争、人物性同異論争などの朝鮮儒学の思想的争点を概観し、朱子学に反対した実学の思想的特徴を考察する。ここでは江戸の古文辞学と清朝の考証学との比較を取り上げる。</p>	<p>西暦偶数年度開講。 対面</p>
OABE322	比較文学論2A	1	1.0	1・2				<p>近現代の文学を研究対象として取り扱う際、海外の文化や文学との交流や影響関係を考えることは大変重要である。本授業は、比較文学の手法を学ぶことによって、近・現代文学研究における新たな視野を獲得することを目的とする。内外の研究者による、ジェンダー理論やポストコロニアル理論を用いたテキスト研究の具体例に触れ、こうした研究に関する知識を得ることで、比較文学研究の視点を体得し、履修者の修士論文に向けての研究に生かす。「比較文学論1A, 1B」とは異なるトピックスを扱う。</p>	<p>西暦偶数年度開講。 01DR583と同一。 オンライン(対面併用型)</p>
OABE323	比較文学論2B	1	1.0	1・2				<p>近現代の文学を研究対象として取り扱う際、海外の文化や文学との交流や影響関係を考えることは大変重要である。本授業では、演習形式によって、比較文学の手法を実践的に学ぶことによって、近・現代文学研究における新たな視野を獲得することを目的とする。多言語のテキストの精読による実証や、翻訳理論・ジェンダー理論・ポストコロニアル理論などを用いたテキスト分析を実際に行うことにより、比較文学研究の視点を体得し、履修者の修士論文に向けての研究に生かす。「比較文学論1A, 1B, 2A」とは異なるトピックスを扱う。</p>	<p>西暦偶数年度開講。 オンライン(対面併用型)</p>

OABE324	日本の文化と文芸2A	1	1.0	1・2					世界的にみても、ある文学作品が発生するのは、その国家・民族の文化活動の一環であることはいまでもないことである。本講義では日本文学古典作品について文学史の基本的事項をふまえながらカルチュラルスタディーズの手法を応用しつつ、受講する大学院生の研究対象に即して、研究の指導を適宜発表の形式も交えながら行っていく。「日本の文化と文芸1A, 1B」とは異なるトピックスを扱う。	西暦偶数年度開講。 01DR595と同一。 対面
OABE325	日本の文化と文芸2B	1	1.0	1・2					世界的にみても、ある文学作品が発生するのは、その国家・民族の文化活動の一環であることはいまでもないことである。本講義では日本文学の近代作品について文学史の基本的事項をふまえながらカルチュラルスタディーズの手法を応用しつつ、受講する大学院生の研究対象に即して、研究の指導を適宜発表の形式も交えながら行っていく。「日本の文化と文芸1A, 1B, 2A」とは異なるトピックスを扱う。	西暦偶数年度開講。 対面
OABE326	世界の文学・文化と日本2A	4	1.0	1・2					動物と人間の関係についての学際研究「アニマル・スタディーズ」の理論と方法を学び、主要なテキストの講読を通して、文学・文化研究での事例を考察する。アニマル・スタディーズとは、動物と人間の差異や共生のあり方を再考する、人文学・自然科学を融合した研究の枠組みである。「2A」では、アニマル・スタディーズの分野において代表的なテキストの講読と発表を行い、動物の権利や福祉といった概念について知識を深める。授業内でのディスカッションを通して、動物に対する認識の文化的多様性を学ぶ。	西暦偶数年度開講。 対面
OABE327	世界の文学・文化と日本2B	4	1.0	1・2					「アニマル・スタディーズ」の理論と方法を概観したうえで、動物に関わる作品を講読し、世界や日本の文学・文化を人と動物の関係から考察する。アニマル・スタディーズとは、動物と人間の差異や共生のあり方を再考する、人文学・自然科学を融合した研究の枠組みである。「2B」では、動物を題材とする文学作品の講読を行い、肉食と菜食、動物園、種差別、震災と動物といったテーマについて考察を深める。授業内でのディスカッションを通して、動物に対する認識の文化的多様性を学ぶ。	人社共同研究棟A604 西暦偶数年度開講。 対面
OABE328	東アジアの古典学と文字文化2A	4	1.0	1・2					八世紀初頭（養老四年）に成立したとされる『日本書紀』を会読する。漢字という文字文化を共有する東アジアでは、古くから漢籍や漢訳仏典が諸国に受容され、各国の文化に多大な影響を与えた。それと同時に、各国では漢語漢文を解釈するための独自の方法や、自国語と漢語漢文との接触によって成り立つ語法が生じた。本授業では漢籍や仏典の古注釈、および訓点資料に目を配りながら、『日本書紀』の変格語法や訓読の実際について考察する。	西暦偶数年度開講。 対面
OABE329	東アジアの古典学と文字文化2B	4	1.0	1・2	秋AB	木3	葛西 太一		八世紀初頭（養老四年）に成立したとされる『日本書紀』には、翌年から講書が始まったとも言われ、卜部兼方『釈日本紀』や河村秀根・益根父子の手になる『書紀集解』をはじめとする多くの注釈書が世に行われた。本授業では、歴代の注釈書を比較検討することにより『日本書紀』の解釈を進めるとともに、その解釈が時代に応じて変容する様相を捉える機会としたい。	西暦奇数年度開講。 対面
OABE330	メディア研究2	1	1.0	1・2	春AB	火6	海後 宗男		この授業では、メディアとコミュニケーションの研究方法に関する文献を輪読する。主にメディア研究方法について学習する。メディアの実証研究の読み方及び実証研究を実施する際に必要になる能力を習得することを目標とする。指定された文献を図書館のデータベースよりダウンロードし、授業のときまでに読み、事前にレポートをウェブにて提出する。授業では文献に関するディスカッションとプレゼンテーションを行い、他の履修生と情報共有し、授業後にその活動内容を報告する。これを、各回実施する。「メディア研究1」とは異なるトピックスを扱う。	西暦奇数年度開講。 01DR388と同一。 対面(オンライン併用型)

OABE331	メディア思想と日本社会2	1	1.0	1・2	秋AB	火5	白戸 健一郎	本授業はメディア研究の生成とその歴史的社会的背景を考えるものである。マス・メディアが誕生して以降、メディアは政治経済文化などさまざまな現象に影響を与え、また影響を受けてきた。メディア研究にはそのような歴史的社会的背景が色濃く影響している。本授業では、メディア研究やその中の種々の理論や批評がいかんして生まれたのかを歴史的社会的連関の中で考察し、そこから透過できる日本社会とメディア思想についての理解を深めることを目的としている。授業は適切なメディア研究と近現代日本史に関するテキストを選別し、担当箇所を受講者が報告し、全体で議論を進め、理解を深めていく輪読形式をとる。これをつうじて先行研究の把握と論文における課題設定の方法、論理的実証的な研究の進め方について学習する。「メディア思想と日本社会1」とは異なるトピックスを扱う。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
OABE332	比較メディア思想2	1	1.0	1・2				本授業は、メディア研究の生成とその歴史的社会的背景について、新聞・映画・ラジオ・テレビなどの各メディアとの比較メディア史的観点及び欧米やアジア諸国と日本との国際比較の観点から、考えるものである。マス・メディアが誕生して以降、メディアは政治経済文化などさまざまな現象に影響を与え、また影響を受けてきた。メディア研究やメディアを考察するメディア思想にはそのような社会現象が強く刻印されている。メディア研究やメディア思想への考察から、社会や政治や文化の国ごとの特質や共通性について理解できるようにする。授業はメディア史やメディア思想に関する適切なテキストを選別し、担当箇所を受講者が報告し、全体で議論を進め、理解を深めていく輪読形式をとる。これをつうじて先行研究の把握と論文における課題設定の方法、論理的実証的な研究の進め方について学習する。「比較メディア思想1」とは異なるトピックスを扱う。	西暦偶数年度開講。 01DR384と同一。 対面(オンライン併用型)
OABE333	日本語相互行為分析2	2	1.0	1・2	秋AB	金3	高木 智世	「日常会話」は、言語を問わず、様々な言語使用状況の中でも最も一般的かつ根源的な社会的相互行為場面である。その「日常会話」をフィールドとして、社会学者のHarvey Sacks、Emanuel Schegloff、Gail Jeffersonらによって日常的相互行為の組織を明らかにするべく創始され、開発されたのが「会話分析」である。本授業では、春学期に学んだ基本的分析概念を踏まえて、人間関係や社会的関係が日常会話の組織にどのように組み込まれているのかを厳密に分析する力を身につける。	対面(オンライン併用型)
OABE334	日常会話のエスノグラフィー2	2	1.0	1・2	秋AB	水3	井出 里咲子	当たり前の現象としてある「日常会話」から社会と文化に切り込む方法について学べる。言語人類学の会話やディスコースへのアプローチを理論的に学び、談話や会話を分析する上での方法論について考える。「日常会話のエスノグラフィー1」とは異なるトピックスを扱う。	教室は人社A316 対面
OABE335	表象メディア論2A	2	1.0	1・2				メディアと表象に関する専門的な理論や研究手法を学ぶ。映画研究、視覚文化研究、カルチュラル・スタディーズ、ファン研究などの専門的な文献を購読し、具体的な事例を検討することで理論的な理解を深める。授業は演習形式で行う。	西暦偶数年度開講。 要望があれば英語で授業。オンライン(対面併用型)
OABE336	表象メディア論2B	2	1.0	1・2	秋AB	金3	渡部 宏樹	メディアと表象に関する専門的な理論や研究手法を学ぶ。映画研究、視覚文化研究、カルチュラル・スタディーズ、ファン研究などの専門的な文献を購読し、具体的な事例を検討することで理論的な理解を深める。授業は演習形式で行う。	西暦奇数年度開講。 要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
OABE340	日本政治と市民社会2	2	1.0	1・2	春AB	金2	山本 英弘	「日本政治と市民社会1」に引き続き、日本の政治や市民社会に関する日本語の文献を講読し、その内容を深く理解するとともに、社会科学における研究の方法等を修得する。とりわけ、比較という視座から日本の市民社会を相対化して捉えられるようになることを目指す。この授業では、国家と市民社会との関係に焦点を合わせて議論する。	教室は人社A316 西暦奇数年度開講。 対面
OABE341	Japan's Politics and Civil Society 2	2	1.0	1・2	秋AB	金2	山本 英弘	“Japan's Politics and Civil Society 1”に引き続き、日本の政治や市民社会に関する英語の文献を講読し、その内容を深く理解するとともに、社会科学における研究の方法等を修得する。とりわけ、比較という視座から日本の市民社会を相対化して捉えられるようになることを目指す。この授業では、国家と市民社会との関係に焦点を合わせて議論する。	西暦奇数年度開講。 対面

OABE344	日本の対外関係2	2	1.0	1・2	春AB	火3	潘 亮	本講義においては近現代日本の対外政策の形成過程とその背景に関する研究資料や文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の基礎的な方法論を習得する。講義内容は原則として第二次世界大戦後のいわゆる「冷戦時代」(1940年代から90年代初頭まで)及び「ポスト冷戦時代」にウェートを置く。英文の教科書を使用するが、授業は日本語で行なわれる。履修要件として「日本の対外関係1」(OABE044)を同時に履修する必要がある。	西暦奇数年度開講。 対面
OABE345	Foreign Relations of Japan 2	2	1.0	1・2				本講義は現代日本の対外政策の形成とその歴史的背景を、政治及び安全保障面を中心に、議論するものである。更に、現代日本の対外関係に関する歴史的な研究の方法論についても適宜に議論する。本講義は1890年代以降の時代を対象とするが、第二次世界大戦終戦後の時代(1940年代後半から1980年代後半までの「冷戦期」並びに「ポスト冷戦期」)に重点を置く。講義は原則的に英語で行われる。教科書や各種資料も英語の出版物を中心に選定する。講義中、活発な議論を強く奨励する。なお、本講義を履修するには「Foreign Relations of Japan 1」も併せて履修することが必要である。	教室は3K226 西暦偶数年度開講。 01DR318と同一。 対面
OABE347	International Relations 2B	2	1.0	1・2				国際関係の主要な理論を、英語文献を通して学習する。国際政治における対立と協調に関する論文を取り上げ、様々な角度から諸理論・アプローチを理解することにとどまらず、実際のケースに理論を応用する能力を身に付ける。また、理論の政策的なインプリケーションについても検討し、理論が国際関係を理解する上で、どの程度役立つかあるいは妨げとなるかも検証する。	西暦偶数年度開講。 対面
OABE348	Japanese Public Administration	1	1.0	1・2	秋AB	木2	河合 晃一	本授業は日本の行政に関する制度や理論について英語文献を用いながら英語で講義する。行政の実態を捉え分析するための基礎的知識と研究能力を養うことが本授業の目的である。なお、日本の行政の理解を深めるにあたり日本の政治制度等に関する議論も本授業では取り扱う。	2025年度より2年おきに開講。 オンライン(同時双方向型)
OABE350	Comparative History Education 2	2	1.0	1・2				比較歴史教育1で習得した内容をもとに、理論からより具体的事例に議論と考察を発展させる。具体例は、履修者の研究テーマおよび関心事例を中心に、Comparative History Education 2では取り上げないものを、日本及び諸外国の事例から選択する。比較歴史教育1では、特に戦争など国際紛争と教育という観点から歴史教育の在り方について考察したが、比較歴史教育2では、主にアフリカやアジア・ラテンアメリカで展開されてきた植民地支配の歴史を中心に扱い、特に発展途上国における歴史教育の在り方について考察する。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
OABE351	Comparative History Education 2	2	1.0	1・2				“Comparative History Education 1”で習得した内容をもとに、理論からより具体的事例に議論と考察を発展させる。具体例は、履修者の研究テーマおよび関心事例を中心に、日本及び諸外国の事例から選択する。“Comparative History Education 1”では、特に戦争など国際紛争と教育という観点から歴史教育の在り方について考察したが、“Comparative History Education 2”では、主にアフリカやアジア・ラテンアメリカで展開されてきた植民地支配の歴史を中心に扱い、特に発展途上国における歴史教育の在り方について考察する。	人社A206 西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
OABE352	計量分析2A	1	1.0	1・2	春AB	月3	崔 幸栄	計量分析は、社会の様々な分野での諸現象や実態を取り巻く溢れる情報から、現象や実態の把握、物事の意味付け、簡略化、客観化、推定等のため、多くの分野で用いる分析ツールの一つである。この授業では、計量分析1Aに相当する知識(基礎集計、記述統計)をベースに、分析に用いる計量分析ツールの正しい使い方を講義する。講義内容は、統計分析用ソフトSPSS(場合によっては、エクセルを並行)を用いて、一連の分析プロセスや、SPSSの基本操作(データ加工・整理・基本集計など)を学び、計量分析2Bでの高度な分析を行うための土台作りを行う。	教室は人社A316 対面(オンライン併用型)、オンライン(対面併用型)

OABE353	計量分析2B	2	1.0	1・2	春AB	木3	崔 宰栄	計量分析は、社会の様々な分野での諸現象や実態を取り巻く溢れる情報から、現象や実態の把握、物事の意味付け、簡略化、客観化、推定等のため、多くの分野で用いる分析ツールの一つである。この授業では、計量分析1Bに相当する知識(相関分析、回帰分析)をベースに、分析に用いる計量分析ツールの正しい使い方を講義する。講義内容は、統計分析用ソフトSPSS(場合によっては、エクセルを並行)を用いて、計量分析2Aで学んだSPSSの基本操作(データ加工・整理・基本集計など)を土台とし、高度な分析(相関分析、回帰分析、因子分析、各種検定など)を行う。	教室は人社A316 01DR123と同一。 対面(オンライン併用型)、オンライン(対面併用型)
OABE354	Global Communication Theory 1B	4	1.0	1・2	秋AB	水3	イスマイロフ ムロド	Focusing on key theories and frameworks, this course explores the intersection of culture, technology, and global politics in the realm of global communication. It examines the transformative role of media and artificial intelligence (AI) in shaping global narratives and enhancing intercultural collaboration.	2025年度より2年おきに開講。 対面、対面(オンライン併用型)
OABE364	金融2	2	1.0	1・2				この講義の目的は、ヨーロッパにおける経済発展の歴史の基本的議論と19世紀から現在までの日本経済の発展の両方を照らし合わせて検討します。現代の特徴を歴史的視点を踏まえて検討する癖を身に付けてください。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
OABE367	地域経済・経営史2A	1	1.0	1・2				本授業はグローバル競争下における地域企業経営および事業展開を、それ以前の展開と対比させつつ検討することを目標とする。特に本授業では、地域経済の発展に貢献することを強く意識した「地域貢献型企業」に着目し、それらの企業がグローバル競争下にどのような問題に直面したか、それに対してどのような改革・取り組みを展開しているかについて検討することを主なテーマとする。授業では、毎回、注目される研究テーマ・事例・文献等を取り上げ、それについてまず教員が近年の研究動向を踏まえつつ重要点を説明する。さらに教員が一方向的に講義を行うのではなく、受講生の報告と討論も取り入れる形で授業を進める予定である。「地域経済・経営史1A」とは異なるトピックスを扱う。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
OABE368	地域経済・経営史2B	2	1.0	1・2	秋A	木5,6	平沢 照雄	本授業はグローバル競争下における地域産業の衰退あるいは再生・活性化に関して、グローバル競争に突入する以前の地域産業あるいは産業集積の発展と対比させつつ検討することを目標とする。特に本授業では、都市型産業集積、企業城下町型産業集積、産地型産業集積の3つのタイプに着目し、グローバル競争下における産業構造の変化や直面する課題、地域・集積内で取り組まれている再生策(産学連携等)について検討することを主なテーマとする。授業では、毎回、注目される研究テーマ・事例・文献等を取り上げ、それについてまず教員が近年の研究動向を踏まえつつ重要点を説明する。さらに教員が一方向的に講義を行うのではなく、受講生の報告と討論も取り入れる形で授業を進める予定である。「地域経済・経営史1B」とは異なるトピックスを扱う。	受講者多数の場合、科目等履修者が履修不可となる場合がある。教室は人社A316 西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
OABE370	Media Research 2	1	1.0	1・2	秋AB	火6	海後 宗男	この授業は英語でメディアに関する研究方法を学習する。実証研究における分析手法を学ぶ。多変量解析などの活用方法を理解できるようになる。この授業では、指定された文献を図書館のデータベースよりダウンロードし、授業のときまでに読み、事前にレポートをウェブにて提出する。授業では文献に関するディスカッションとプレゼンテーションを行い、他の履修生と情報共有し、授業後にその活動内容を報告する。これを、各回実施する。「Media Research 1」とは異なるトピックスを扱う。	西暦奇数年度開講。 01DR390と同一。 要望があれば英語で授業。対面(オンライン併用型)
OABE371	移民研究・国際人口移動論2	2	1.0	1・2				移民・難民など現代の国際人口移動に関する現状、理論、政策、政治、ガバナンス、市場経済等について、社会学の観点・命題を中心に学際的な考察を加える。おもに、この分野における主要基本文献の精読と解題をおこなうほか、時事的なケーススタディをもとに議論を深める。	西暦偶数年度開講。 対面
OABE372	Migration and Multicultural Studies 2	2	1.0	1・2				移民・難民など現代の国際人口移動と日本社会の「多文化」化に関する現状、理論、政策、政治、ガバナンス、市場経済等について、社会学の観点・命題を中心に学際的な考察を加える。おもに、この分野における主要基本文献(英語)の精読と解題をおこなうほか、時事的なケーススタディをもとに議論を深める。	西暦偶数年度開講。 対面

OABE375	法と現代社会2A	1	1.0	1・2					法は現代社会にとって役に立つのか立たないのか、立つとしてどの程度か、それはなぜか、といった問いについて、受講生各人が自分の頭で考え、調べ、結論を出すことができるようになることを目標とする。グローバル社会における日本が抱える現代的な法的問題について考察するために、生殖医療、義務教育、校則、少年犯罪、就職活動等、現代日本の社会問題について法的な観点からディスカッションを行う。受講生は、各回のテーマについて、指定する教科書・参考書等を読んで理解を深め、新聞・テレビ・インターネット等のメディアを通じて最新の情報を収集し、質疑応答に臨むことが要求される。	西暦偶数年度開講。 01DR243と同一。 対面
OABE376	法と現代社会2B	2	1.0	1・2					法は現代社会にとって役に立つのか立たないのか、立つとしてどの程度か、それはなぜか、といった問いについて、受講生各人が自分の頭で考え、調べ、結論を出すことができるようになることを目標とする。グローバル社会における日本が抱える現代的な法的問題について考察するために、労働法、死刑制度、環境問題、多重債務者、安楽死・尊厳死、相続等、現代日本の社会問題について法的な観点からディスカッションを行う。受講生は、各回のテーマについて、指定する教科書・参考書等を読んで理解を深め、新聞・テレビ・インターネット等のメディアを通じて最新の情報を収集し、質疑応答に臨むことが要求される。	教室は人社A316から人社A201へ変更。 西暦偶数年度開講。 01DR244と同一。 対面
OABE377	多文化共生論2	4	1.0	1・2					本講義では、日本の社会的・文化的多様性を紹介し、世界の事例も踏まえながら、多文化共生をめぐる様々な争点について探求していきます。また、共生をさまたげる要因は何か、その背景にある排他主義や差別の問題についても理論的考察を加え、多文化しつつある日本の共生社会の実態や多文化共生社会のあり方について、多面的に考えます。	西暦偶数年度開講。 対面
OABE378	Comparative Perspectives on Law 2A	1	1.0	1・2	春AB	月2	オンライン	アンドレア	Legal precedents play an important role in numerous legal systems. This course will explore the function of case law in the legal system of several countries. In particular, the lessons will analyze the differences and the similarities between common law systems and civil law systems with regard to legal precedent. The lessons will follow the comparative method and provide insights into the processes of globalization and circulation of legal models.	2025年度より2年おきに開講。 英語で授業。 対面
OABE379	Comparative Perspectives on Law 2B	1	1.0	1・2	秋AB	月2	オンライン	アンドレア	Legal precedents play an important role in numerous legal systems. This course will explore the function of case law in the legal system of several countries. In particular, the lessons will analyze the differences and the similarities between common law systems and civil law systems with regard to legal precedent. The lessons will follow the comparative method and provide insights into the processes related to exchanges and transplants among different legal traditions.	2025年度より2年おきに開講。 英語で授業。 対面
OABE380	日本語教育研究概論	2	1.0	1	秋AB	水5		関崎 博紀, チョーハン アズブティ, 岩崎 拓也, 稗田 奈津江, ブッシュネル ケード コンラン, ヴァンパーレン ルート, 三好 優花, 鏡 耀子	日本語教育原論での基礎知識を踏まえ、日本語教育に関する研究論文を書くための講義をオムニバス形式で行う。コース前半では、研究論文を書く方法として、先行研究批判方法や、オリジナリティと論理性の示し方、調査方法、引用、剽窃、データの扱い方を講義する。その上で、教員の専門性を伝えるべく、文章・談話研究の方法、自然会話研究の方法、ポライトネス研究の方法、日本語学習者研究の方法など、日本語教育に必要な研究方法を学ぶ。	科目等履修生の条件： 旧・日本語教師養成プログラム修了者に限る 対面
OABE381	日本語語用論研究	2	1.0	1	秋AB	月2		小野 正樹	言語研究の中でも、20世紀後半から発達した、話者と聴者のコミュニケーションを扱う伝統的語用論研究、事態の認識方法に関わる認知言語学、人間関係維持を重んじたポライトネス理論の研究内容や手法を学ぶ。認知に関わる言語の主観性表現や、聴者や発話の場を鑑みた表現方法について、予め決められた発表者が該当論文を扱う。発表者は論文の要旨を述べ、疑問点や議論したいテーマを設定する。それを受けて、受講者は具体的例を挙げながら、議論し、日本語教育上の問題点や、日本語教育への応用を考える。	科目等履修生の条件： 旧・日本語教師養成プログラム修了者に限る 対面 人社A316

OABE382	ICTと日本語教育研究	2	1.0	1	秋AB	木4	伊藤 秀明	ICTを利用した日本語教育関連の文献・ツールを通して、ICTを活用した日本語教育研究についての基礎知識・研究手法について学ぶ。受講者はICTを活用した日本語教育関連の文献やツールの内容を発表し、受講者全体で効果的な点や疑問点・改善点について議論する。その議論を通して、ICTを活用した日本語教育の研究についての理解を深める。	科目等履修生の条件： 日本語教師養成プログラム修了者に限る。教室は人社A316 対面
OABE383	日本語教育実践研究1	3	3.0	1	秋ABC	応談	波多野 博頭, 伊藤 秀明, ヴァンパーレン ルート, 文 昶允, 岩崎 拓也, 三好 優花, 小野 正樹, ブッシュネル ケード コンラン, 関崎 博紀, チョーハン アヌプティ, 鏡 耀子	筑波大学グローバルコミュニケーション教育センターで開講されている、日本語教育コース専任教員が担当する初級レベルの総合日本語から、中級日本語、上級日本語レベルの読む、書く、聞く、話すなどの技能別日本語の中で、受講生自身が強い興味・関心のある授業を、担当教員と相談の上、選択し、授業運営方法、教育方法を学ぶ。授業担当教員教員の指示に従って教室活動、教材作成に関わる教育実習を行い、実践的日本語教育能力を高めることを目的とする。	科目等履修生の条件： 日本語教師養成プログラム修了者に限る 対面
OABE384	日本語教育実践研究2	3	3.0	2	春ABC	応談	岩崎 拓也, チョーハン アヌプティ, ヴァンパーレン ルート, ブッシュネル ケード コンラン, 関崎 博紀, 鏡 耀子	日本語教育実践研究1を受けて、受講生は本学で学ぶ日本語学習者が求める日本語教育内容を検討し、初級レベルの学習者を中心に実際のクラス運営を行う。クラス運営は、2~3名から成るグループ単位で行う。指導内容を設定し、その内容に基づいてシラバス作成、参加者の募集とレベルチェック、授業、評価、及び、クラス運営に関する振り返りを行う。日本語教育コース専任教員がグループに分かれて、教育内容、振り返りを確認、助言し、実践的日本語教育能力を高めることを目的とする。	科目等履修生の条件： 日本語教師養成プログラム修了者に限る 対面
OABE385	日本語教育実践研究3	3	3.0	2	秋ABC	応談	チョーハン アヌプティ, 岩崎 拓也, 伊藤 秀明, ヴァンパーレン ルート, 文 昶允, 波多野 博頭, 三好 優花, 小野 正樹, ブッシュネル ケード コンラン, 関崎 博紀, 鏡 耀子	日本国内外の日本語教育機関で日本語を教えた経験を持っている学生を対象に、教育を行った教育機関、期間、担当授業内容について、コースコーディネーション、プレースメント、主副教材作成、学習者のニーズ、シラバス作成、成績評価法、授業の評価の観点から、学内で報告会を開催し、質疑議論を行う。日本語教育コース専任教員が実践内容について、今後の方向性などを助言し、実践的日本語教育能力を高めることを目的とする。	科目等履修生の条件： 旧・日本語教師養成プログラム修了者に限る 対面
OABE386	日本語教育のための音声学・音韻論	4	1.0	1・2	春AB	火3	文 昶允	日本語音声学・音韻論の基礎知識を身に着けるとともに、日本語教育への応用を目指す。授業では、日本語音声学・音韻論の基礎力・応用力を養うために、関連する文献講読および討論を行う。	科目等履修生の条件： 日本語教師養成プログラム修了者に限る 対面(オンライン併用型)
OABE387	日本語教育のための文章論	1	1.0	1・2	春AB	月3	岩崎 拓也	日本語の文章を対象とした研究の中で日本語教育に関連の深いテーマを取りあげて、文章構造や表現についての知見を深め、分析・記述の方法を学ぶ。授業では、日本語の基礎力・応用力を養うために、関連する文献講読および討論を行う。	対面
OABE410	比較宗教文化1B	4	1.0	1・2	秋AB	木2	喜田川 たまき	本授業では、日本を含む諸地域にみられる宗教および文化についての文献を講読し、宗教現象とそれを成り立たせる文化の多様な在り方について学び、それらを比較考察する手法を獲得することを旨とする。宗教学を主な方法論とするが、宗教や文化を扱う他領域の文献も含めて検討する。	2025年度より2年おきに開講。 対面
OABE460	ゲーム理論の基礎1	2	1.0	1・2				この授業では、まずゲーム理論の最も基本的な概念を理解することを目的として、経済・社会状況を戦略形ゲームによって数理的に表現する方法を学ぶ。ゲームの解や均衡概念として、合理化可能戦略・ナッシュ均衡点をカバーするとともに、さらに、不完備情報ゲームの均衡概念としてベイジアン均衡点をカバーする。	西暦偶数年度開講。 対面
OABE461	Foundation of Game Theory 1	2	1.0	1・2				この授業は、ゲーム理論の最も基本的な概念を理解することが目標である。まず、経済や社会の状況を数理的に表現する方法として、展開型ゲームを取り上げる。また、拡張形式ゲームの均衡概念として、サブゲーム完全均衡、完全ベイズ均衡、逐次均衡などについても触れてゆき、ゲーム理論の考え方と発想法、そして現実への演繹について考えてゆく。	西暦偶数年度開講。 英語で授業。 対面

OABE590	アジア的心身論1	1	1.0	1・2	秋AB	集中	嚴 錫仁	東洋、特に日本では、物と心、あるいは神もこの自然の中に一緒に存在するという世界観がある。その中で、人間の心と身体についても一体的なものとして捉えるという伝統的な思想のありようがある。本授業では、日本を中心とするアジア人の心・身体のありようについて、西洋近代文化の影響を考察しつつ、東洋と西洋の間の差異についても考えてゆく。これを通して、近現代における東洋の社会の発展や変容と、東洋独特の心身観との関係について学ぶ。	詳細後日周知。対面
OABE594	言語政策と日本語論1	1	1.0	1・2				「国語」「公用語」「標準語」とは？ 琉球語は「言語」か「方言」か？ 「言語権」「情報保障」とは？… などのようなテーマを取り上げながら、本授業では、主に日本国内の多言語事情（少数民族の言語、移民言語、その他のマイノリティ言語など）、また「共通語としての日本語」の多様性について紹介し、「ことば」をめぐる政策の歴史、現状と課題を考える。	2024年度より2年おきに開講。 2025年度開講せず。
OABE595	サービス場面におけるコミュニケーション	1	1.0	1	秋C	集中	黒嶋 智美	本講義では、広義にサービス場面をとらえ、様々な社会的制度場面のコミュニケーションのありようについて文献講読から学び、実際のデータを見て分析する訓練を行なう。文献はすべて、会話分析の研究論文を取り上げる。会話分析は、会話参加者らが、言語、身体、道具、環境など、相互行為にかかわるリソースをいかに駆使して社会的行為をその都度、達成しているのか、その様々な実践（手続き）を明らかにする研究手法である。特に、本講義では広義のサービス場面の研究を集中的に扱い、制度的課題に対する志向性など相互行為の中で具現化される諸特徴がどのように特定の社会的行為をそれとして認識可能にしているのか議論を深める。日本語のデータや、日本語教育に関連するような接触場面の研究事例も積極的に取り上げる予定である。	高木智世先生担当の「会話分析A・B」「相互行為分析A・B」などを履修済みであることが望ましい。 旧課程「O1DR739」を既に履修している学生は当該授業の履修不可。 西暦奇数年度開講。 詳細後日周知。対面
OABE800	プロジェクト演習1A	2	2.0	1	秋ABC	応談	国際日本研究学位プログラム全教員(前期)	受講者は、自らの研究プロジェクトを指導教員(複数)との討議や協議の中で作成し、そのプロポーザルを発表する。基本的な議論の枠組み、主要な先行研究、主要な素材を提示するとともに、今後の原作的な研究のための研究計画を提示する。主に4月入学者が受講する。	対面(オンライン併用型)
OABE801	プロジェクト演習1B	2	2.0	1	春ABC	応談	国際日本研究学位プログラム全教員(前期)	受講者は、自らの研究プロジェクトを指導教員(複数)との討議や協議の中で作成し、そのプロポーザルを発表する。基本的な議論の枠組み、主要な先行研究、主要な素材を提示するとともに、今後の原作的な研究のための研究計画を提示する。主に10月入学者が受講する。	対面(オンライン併用型)
OABE802	プロジェクト演習2A	2	2.0	2	春ABC	応談	国際日本研究学位プログラム全教員(前期)	受講者は、自らの研究プロジェクトの中間報告を、指導教員(複数)との討議や協議の中で作成し、その研究成果を発表する。基本的な議論の枠組み、主要な先行研究と自らの議論との違いと共通点、主要な素材の分析を提示するとともに、今後の原作的な研究のための執筆計画を提示する。主に4月入学者が受講する。	対面(オンライン併用型)
OABE803	プロジェクト演習2B	2	2.0	2	秋ABC	応談	国際日本研究学位プログラム全教員(前期)	受講者は、自らの研究プロジェクトの中間報告を、指導教員(複数)との討議や協議の中で作成し、その研究成果を発表する。基本的な議論の枠組み、主要な先行研究と自らの議論との違いと共通点、主要な素材の分析を提示するとともに、今後の原作的な研究のための執筆計画を提示する。主に10月入学者が受講する。	対面(オンライン併用型)
OABE804	プロジェクト演習2C	2	2.0	2	秋ABC	応談	国際日本研究学位プログラム全教員(前期)	プロジェクト演習2Aまたは2Bをふまえ、指導教員(複数)との討議や協議をしながら原作的な研究を行いつつ修士論文の執筆を進め、修士論文を提出した後は、その内容に関して口頭試問を行う。主に4月入学者が受講する。	対面(オンライン併用型)
OABE805	プロジェクト演習2D	2	2.0	2	春ABC	応談	国際日本研究学位プログラム全教員(前期)	プロジェクト演習2Aまたは2Bをふまえ、指導教員(複数)との討議や協議をしながら原作的な研究を行いつつ修士論文の執筆を進め、修士論文を提出した後は、その内容に関して口頭試問を行う。主に10月入学者が受講する。	対面(オンライン併用型)